

宮城県看護協会 仙台黒川支部だより

発行責任者 松邑恵美子 (JCOH 仙台病院)

令和6年8月 第1号発行

支部長あいさつ

支部長として2年目を迎えました。新年度が過ぎどの施設でもwithコロナに順応しつつあるかと思えます。日々のご尽力を心より敬服しながら、より一層の「看護のチカラ」の結実と実感しています。

今年度の支部活動では参加しやすい企画と気ままに闊達な意見交換できる“場”を心がけていきたいと思えます。これからも支部の発展に寄与できるように役員一同努力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。



令和6年度 役員紹介

支部長	松邑 恵美子 (JCHO 仙台病院)	加藤 優 (西仙台病院)
副支部長	千葉 恵美 (仙台徳洲会病院)	教育委員
書記	吉岡 マチ子 (東北労災病院)	阿部 慶佑 (宮城県立こども病院)
会計	山田 智恵美 (松田病院)	木村 玲奈 (東北労災看護専門学校)
	千葉 弥生 (宮城県立こども病院)	広報
	小野寺 悦子 (宮城大学)	鏡 哲也 (黒川病院)
職能委員	伊藤 朋子 (とも子助産院)	熊坂 幸恵 (仙台IJ-医療療育センター)
	添田 稚子 (仙台循環器病センター)	
	熊谷 真樹子 (JCHO 仙台病院)	
推薦委員	宮崎 尚美 (仙台リハビリテーション病院)	
	渡辺 薫 (仙台循環器病センター)	
	遠藤 美香 (広瀬病院)	



今後の予定

8/24(土) まちの保健室 @ 泉区民ふるさと祭り (13:00~15:00 予定)

10-11月頃 第1回教育研修会・第2回地域ネットワーク交流会

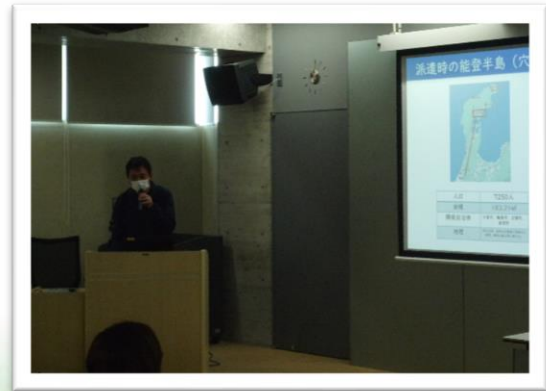
詳細は追ってご連絡致します。

第1回 地域ネットワーク交流会

4月13日、仙台黒川支部総会と同日に第1回地域ネットワーク交流会が開催されました。

今回のテーマは、能登半島地震派遣 災害派遣ナースの活動について実際派遣活動をされた泉区保健福祉センター 佐藤沙也果さんと宮城県看護協会災害支援ナース 太田雄介さんより話題提供がありました。被災地の職員や支援者も被災者であるということ、被災自治体の心情に寄り添った支援が大切、また指示待ちではなく自立した活動を行うことや多職種と連携して職種の強みを活かせるよう密な情報共有が必要だという話が印象的でした。

今後の課題として、職場・自宅での安全対策の確認と災害訓練の実施、地域を含めた災害対策の把握が挙げられました。その後のグループワークでは以上の話を元に東日本大地震の時の状況や、その後どのような対策をしているかなど話し合い、各施設での強み弱みを再確認し今後活かしていけるよう考える場になりました。



2024 看護のひろば @ 仙台アエル2階アトリウム

今回の看護のひろばでは、宮城県看護協会各支部で血圧測定や血管年齢測定、骨密度測定、肌年齢測定、高校生や看護学生を対象とした進路相談などが行われました。

仙台黒川支部では、普段の食生活をチェックした後、塩味ペーパーを使って、実際にどの濃度で塩味を感じるかテストを行いました。さらに、食習慣改善のための栄養指導を行いました。

快晴の下、限られた時間の中、当支部のブースだけでも150名ほどの方々が来場し、大いに盛り上がっていました。

ご来場いただいた皆さま、暑い中、足を運んで頂きありがとうございました！

